

研究データ管理 (RDM) サービスの将来

国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター

rcos-office@nii.ac.jp

次世代学術研究プラットフォームにおける研究データ管理(RDM)サービスの高度化

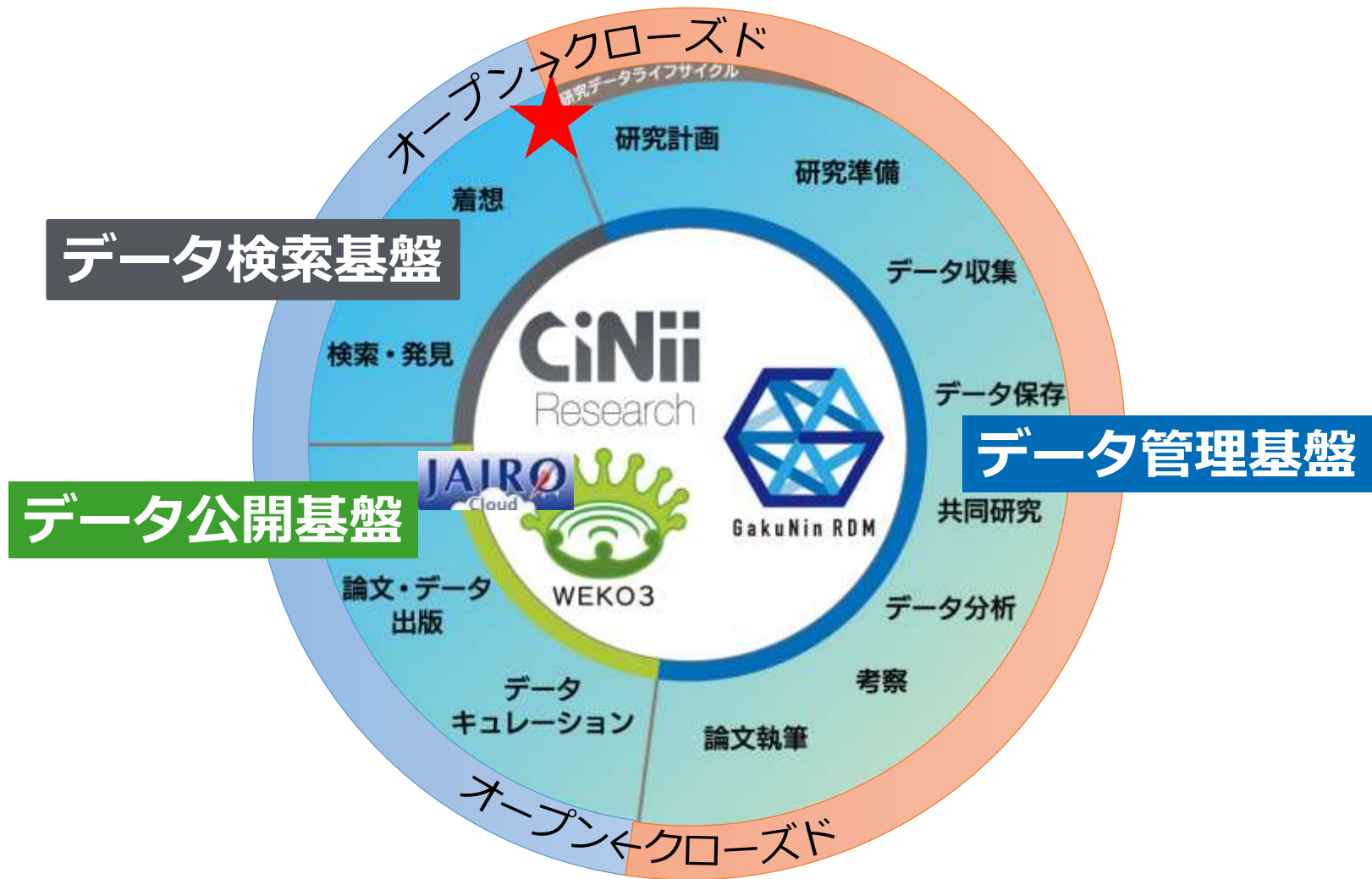
次世代学術研究プラットフォームとデータ駆動型研究

NII



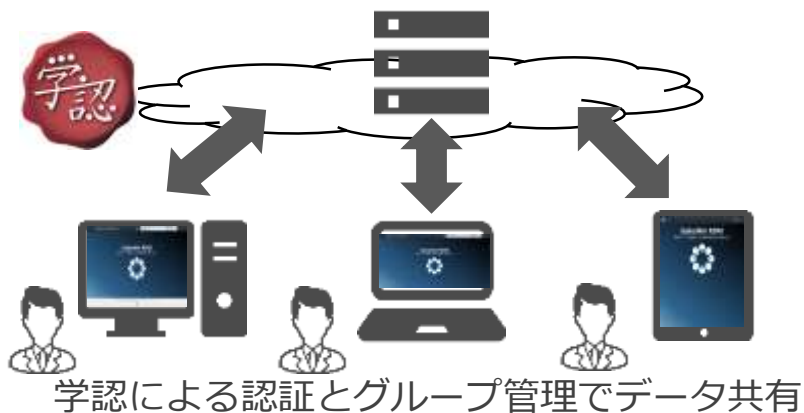
* RDM: Research Data Management

現在のNII Research Data Cloudにおける 研究データ管理(RDM)サービス



研究データ管理(RDM)サービス GakuNin RDMの概要

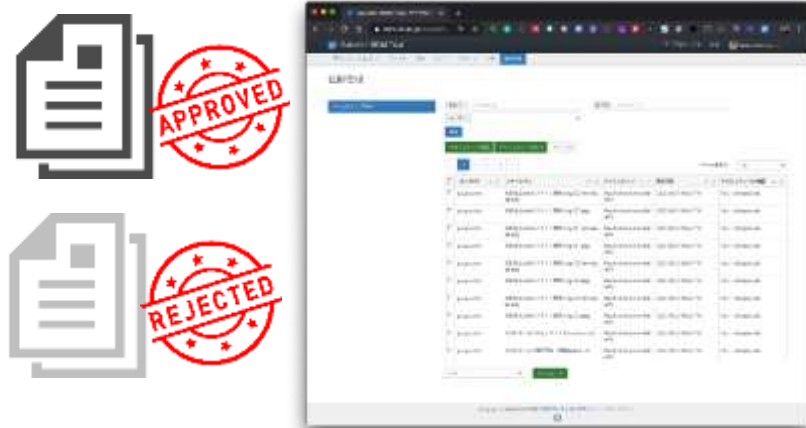
研究データ共有機能（基本機能）



NII研究データ基盤と外部ツールとの連携



研究証跡の保存機能



時刻認証事業者のタイムスタンプで
ファイルの存在を証明

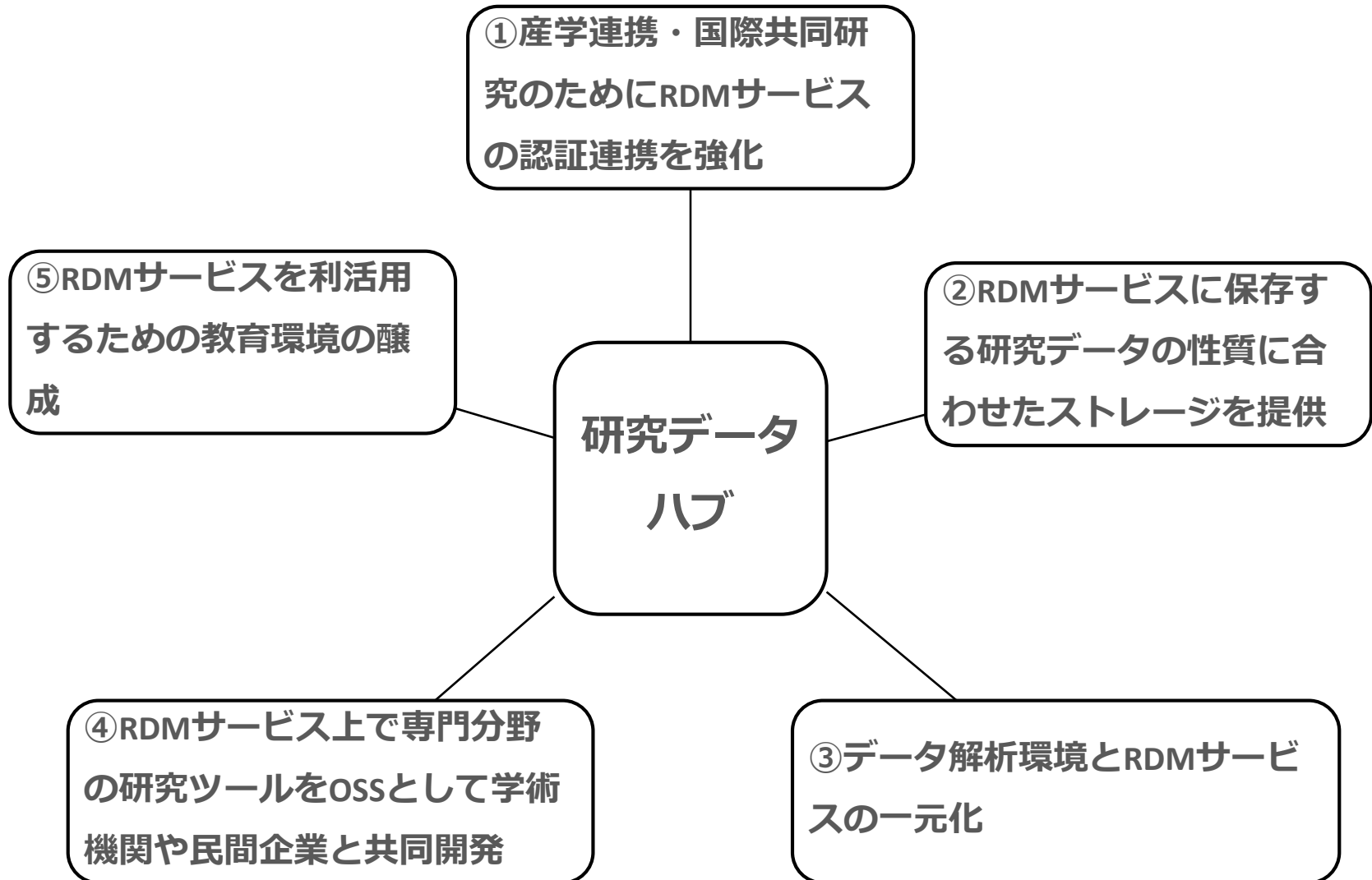


機関利用のための管理機能



機関の管理者による組織内の
RDMサービスのカスタマイズ

研究データ管理(RDM)サービスの将来像、 「研究データハブ」をめざして



産学連携・国際共同研究のためにRDMサービスの 認証連携を強化

大学・研究機関のリクエスト

研究者は産学連携・国際共同研究のために
研究データ管理(RDM)環境を手軽に準備したい



NIIのアクション

RDMサービスと産学連携用の認証システムを実現
国際共同研究のためにeduGAINとも連携

RDMサービスに保存する 研究データの性質に合わせたストレージの提供

大学・研究機関のリクエスト

研究者は大容量なデータを低コストに長期間の保存・アーカイブをしたい
また、センシティブデータを安全に保存・管理しておきたい



NIIのアクション

研究データの性質（コスト、保存期間、アクセス頻度、機密性、完全性、可用性）に応じRDMサービス上で異なる種類のストレージを準備して提供

RDMサービスのストレージ基盤と データ解析環境の一元化

大学・研究機関のリクエスト

研究者は保存されたデータを時間や手間をかけず解析したい
解析の終わったデータを直ぐに共同研究者と共有したい



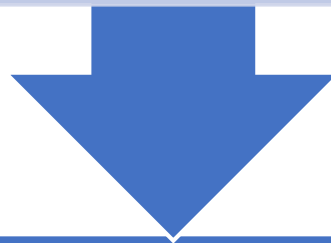
NIIのアクション

RDMサービスとデータ解析基盤を連携させた研究空間の実現
分析を終えたデータをリアルタイムに共同研究者へ共有

RDMサービス上で専門分野の研究ツールを OSSとして学術機関や民間企業と共同開発

大学・研究機関のリクエスト

研究者は専門分野の研究ツールをストレージ連携させて使いたい
学術機関は組織内の情報システムをRDMサービスと連携させたい



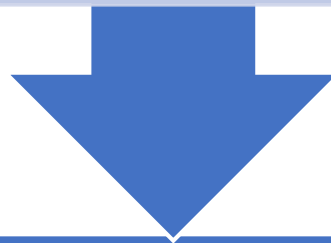
NIIのアクション

専門分野の研究ツールをRDMサービス上で動作するアプリとして実現
サードパーティ製アプリとして大学や研究機関、メーカーとのOSS開発

RDMサービスを活用するための 教育環境の整備・RDM慣習の醸成

大学・研究機関のリクエスト

大学や研究機関は、学生や研究者に研究データ管理を実践させるために、
組織内でRDM教育や普及活動を行いたい



NIIのアクション

RDMサービスを活用するための教材やツールの整備
教職員がRDMサービスのサポート・コンサルティングを行う文化の醸成

まとめ

- 次期学術研究プラットフォームにおける研究データ管理サービスの位置付けは最もユーザに近いアプリ寄りを担う
- RDMサービスに対する大学・研究機関からのリクエストとNIIのアクションについて、将来像を述べた
 - ① 産学連携・国際共同研究のためにRDMサービスの認証連携を強化 【**認証基盤連携**】
 - ② RDMサービスで研究データの性質に合わせたストレージを提供 【**ストレージ基盤連携**】
 - ③ データ解析環境とRDMサービスの一元化 【**解析基盤連携**】
 - ④ RDMサービス上で動作する専門分野の研究ツールをOSSとして学術機関や民間企業と共同開発 【**OSS開発**】
 - ⑤ RDMサービスを利活用するための教育環境の醸成 【**教育・普及・コンサルティング**】